

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ

第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市曳高1-1-4
TEL 320-3335

市川版コミュニティ・スクール「学校運営協議会」をすべての市立幼稚園・学校に設置しました

「学校運営協議会」は、教育委員会から任命された地域住民、保護者の代表等、15名以内の委員が一定の権限と責任をもって学校運営に参画する“学校にある学校応援団”です。校長・園長が作成する運営の基本方針を基に、どのように教育を進めていくか、「熟慮」と「議論」を重ね、それぞれの意見を合意形成する組織です。



今年度市立幼稚園・学校の全家庭に配付した「リーフレット」の表紙です。こちらに具体的に説明が書かれていますので、ご覧ください。

また、中学校ブロックごとに設置する「地域学校協働本部」は、中学校および義務教育学校区を単位とする“地域にある学校応援団”です。教育委員会から委嘱された地域学校協働活動推進員を中心に、学校のニーズを引き出し、地域のネットワークを活用して様々な教育活動や地域活動をサポートする組織です。

このように、子供を中心に、学校を核として、「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」、2つの組織を設置することで、相乗効果をねらっています。

新学習指導要領の理念にある「社会に開かれた教育課程の具現化」を目指すためにも、2つの組織の取組を効果的に連携させ、子供たちの教育環境を整え、様々な教育活動が展開できるように学校と地域が連携・協働することが大切であると考えます。

地域の皆様には、ボランティア等で協力をお願いすることもあるかと思いますが、未来を担う市川の子供たちのために、お力添えをいただければ幸いです。

【学校地域連携推進課】



平成30年度 市川市児童・生徒学習賞

～過去最多の61件を表彰～

3月22日(金)、平成30年度市川市児童・生徒学習賞の表彰式が全日警ホール(八幡市民会館)で行われました。

この賞は、学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収めた個人および団体に与えられるものです。

40回目の節目を迎えた平成30年度の受賞件数は、昨年度より1件増えた61件(個人42件・団体19件)です。受賞者および受賞団体に、田中教育長から賞状が、松丸教育次長から記念品がそれぞれ授与されると、児童生徒からは自信に満ちた表情や頼もしさを感じられました。

田中教育長からは、お祝いの言葉とともに、将棋の藤井聡太七段のエピソードが紹介され、「自分らしさ」に磨きをかけ、更なる力を発揮してほしいとの言葉がありました。また、受賞者を代表して、第七中学校柔道部の田中輝乃さんが、日々の努力を忘れず技術を磨くと同時に、人として立派に成長していきたいと、今後の抱負を話しました。

今回、受賞された児童生徒の皆さん、本当におめでとうございます。受賞者名および受賞団体名や表彰件名等については、市川市教育委員会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

【指導課】



のべ3万人達成! 縄文体験学習



市川考古博物館では、「縄文土器に触れる」「貝塚を見学する」「縄文食を味わう」など、五感を使って楽しみながら学ぶことができる縄文体験学習を実施しています。

今年度は5月までに、市内24校の小学校が体験し、一面に広がる縄文時代の貝塚や、はじめて食べる土器を使って作られた料理の味に、多くの子供たちが驚いて帰って帰りました。

今年度の体験学習の受付は終了してしまいましたが、7月6日(土)から9月8日(日)まで、市川で出土した日本最古の縄文時代の丸木舟など、多くの出土品を展示する企画展を歴史博物館で開催します。近くで見ることができる大変貴重な機会ですので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。また、考古博物館の展示や堀之内貝塚に関する解説は、どなたでもお聞きいただけますので、ご興味のある方は、考古博物館(373-2202)までご連絡ください。

【考古博物館】



《 オープンスクールデー 》

市川市立小・中・義務教育・特別支援学校および幼稚園では、「地域とともに歩む学校づくり」の一環として、自校の教育活動を、保護者だけでなく地域住民の皆様にも見ていただける「オープン・スクール・デー」を設定しています。詳細については、各学校・園へ直接お問い合わせください。日程は、市川市のWebサイトに掲載しています。

【義務教育課】

市川市公式ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

救命救急を通した「命の教育」を!

5月7日(火)、東京ベイ浦安市川医療センターの本間洋輔医長をお招きして、安全主任研修会を行いました。PUSHコースという、簡易的トレーニングキット(あっぱくん)とアニメーションビデオを用いて、非医療従事者でも、胸骨圧迫とAEDの使い方を効率よく学習できるプログラムを体験しました。



簡易的トレーニング
キット(あっぱくん)

本市では、市立学校の教職員向けに、毎年救命救急講習会を行っています。この度の学習指導要領の改訂では、中学校保健体育科の保健分野において、「胸骨圧迫、AED使用などの心肺蘇生法等について、

『実習を通して』できるようにする。」と明記されており、救命に関する教育のさらなる充実が求められています。PUSHという新しい教育手法を用いることで、今後さらに、救命救急の普及を促進していきたいと考えています。

なお、PUSHコースには、児童生徒向け以外にも、保護者や地域住民向けのプログラムもありますので、授業や研修会等で取り組んでみたいとお考えの方は、保健体育課体育グループ(383-9342)までお問い合わせください。【保健体育課】



教育センター行徳相談室開室

行徳支所の窓口機能等の拡充に合わせて、市内南部に居住されている利用者の利便性を図り、教育相談を充実させるために、行徳支所内に『教育センター行徳相談室』を5月14日(火)に新規開設しました。

- ・TEL: 318-3223
- ・場所: 行徳支所2階
- ・開室日: 火曜日～土曜日
- ・時間: 午前9時～午後5時
- ・相談内容: 発達に関する事、不登校に関する事、性格や行動に関する事、学業に関する事、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関しての相談をお受けします。まずは、お電話でお申し込みください。

※「きこえやことばに関する事」「就学に関する事」の相談は、教育センター相談室(生涯学習センター)にてお受けします。

※木曜日は、ほっとホッと訪問相談も受け付けます。
(午後0時30分～午後5時) 【教育センター】

子供にかかわる相談はここです!

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 (教育センター相談室)

予約TEL 318-3223 (行徳相談室)

火～土(午前9時～午後5時)

対象: 3歳～中学校3年生

子育てや発達等の悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。

◆ほっとホッと訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 (教育センター相談室) 火～金(午後0時30分～午後5時)

TEL 318-3223 (行徳相談室) 木のみ(午後0時30分～午後5時)

対象: 小学校1年生～中学校3年生

不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。

自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※木は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp

対象: 小学校1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人からの相談も可能です。 【教育センター】

食育交流事業～4月より開始～

昨年9月に市川市と喜多方市・西会津町・北塩原村との間で締結した「相互交流に関する協定」を基として、子供たちの間でも交流を図ることを目的に「学校給食食育交流事業」を立ち上げました。

取組の大きな柱は、互いの地域の特産物を学校給食で提供することです。市川市の学校給食では会津産コシヒカリが提供され、会津3市町村へは市川市産梨を提供します。会津産コシヒカリは、食味ランキングで特Aランクを獲得した、おいしさに定評のあるお米です。一方、会津に提供する市川市産梨のおいしさは、市川市民ならば皆さん納得するところでしょう。

それぞれの地域の特産物を食べることで、互いの地域の気候風土、農家の工夫や努力を理解し合い、互いを尊重し合う豊かな心が育まれることを期待しています。将来にわたり、絆が太く強くなっていくきっかけになればよいと思います。【保健体育課】



教科書展示会



令和元年度使用教科書 小・中学校・義務教育学校 全教科
特別支援学校・特別支援学級用一般図書
令和2年度使用教科書見本 小学校・義務教育学校 全教科
特別支援学校・特別支援学級用一般図書

日時: 6月14日(金)～6月30日(日)

午前10時～午後5時

※毎週月曜日と館内整理日(6月28日(金))を除く

場所: 市川市生涯学習センター3階

市川市文学ミュージアム資料室

【指導課】

小・中学校の講師募集

～あなたの教員免許をいかし、市川の子供たちのために働きませんか～

1. 募集職種

(1) 県費講師: 産前産後休暇等の代替等

・常勤(週38時間45分勤務)

給与: 月額20万円程度～(経験による) 交通費有

(2) 市費補助教員: 教科の指導のサポート及び学級担任等の補助

・週2日～(最大5日35時間)(8:15～16:00)

時給1000円～(職種による) 交通費有

2. 応募方法

※義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。

TEL 383-9261

【義務教育課】

